

第61回理事会 報告書

(財) おかやま環境ネットワーク

○日時：2011年8月27日(土) 10:00~11:30

○出席：12名(内委任2名)

○議長：青山、議事録署名人：花口・三村

〔報告事項〕

1. 事業報告など以下の報告がありました。

- ①. 運営委員会報告：今後の「助成事業・協働事業」、「震災からの学習・交流会」、「ネットワークのつどい」のあり方や「学生会員新設」について検討しました。
- ②. 単行本「ホテルと人と文化」の普及実績について、1,000冊作成し在庫が33冊となったという報告がありました。
- ③. 自然環境部会報告：第三回おかやま環境シンポジウム企画について検討し、事前取材の日程を確認しました。
- ④. 助成部会報告：助成事業に関する年間の流れを確認し、2012年度以降の「助成事業・協働事業」のあり方について検討し、今年度のネットワークのつどい(維持会員総会)の振り返りをしました。
- ⑤. ネットワークのつどい(維持会員総会)開催報告：昨年に引き続き交流やネットワーク機能の強化を目的に助成報告会・交流会・維持会員総会の3点を併せ持つ交流事業として開催し、61名の参加がありました。交流会では活発な意見交換が行なわれました。
- ⑥. ホテル団体交流会報告：第9回おかやまホテルフォーラム開催要項について検討し、飛翔状況や各団体の活動を交流しました。
- ⑦. エコファミリー講座「のとり原まるごと探検」開催報告：自然にふれ豊かな体験をすることを目的に開催し、64名(前年25名)の参加があり企画も概ね好評でした。今年度、参加形態を分け割安感を出したり、定例の広報に加え近隣の5小学校にチラシを配布したことなどの改善により、参加を増やすことができました。
- ⑧. テーマ別講座②『リサイクル・処分場見学エコツアー』開催報告：リサイクルや廃棄物処理の現場から資源の有効活用について学ぶことを目的に、山上新最終処分場、エフピコ福山リサイクル工場を見学し、38名の参加がありました。
- ⑨. テーマ別講座③『海辺教室 in 高島干潟』開催報告：干潟の役割とその大切さを実感することを目的に、児島湾高島干潟にて開催し、92名の参加がありました。マスコミにも取り上げられ、関心の高さが伺えました。
- ⑩. 事務局職員の定年退職に伴う採用予定スケジュールの報告がありました。

2. 決算・会費納入状況についての報告がありました。

7月度末決算状況として、当期収入は予算比124.1%、前年比111.9%となり、この主な要因はエコポイント寄附によるものです。当期支出は予算比70.2%、前年比108.5%となり、この主な要因は広報費の支払月のずれによるものです。当期収支差額は145万円となりました。

7月末会費納入状況は、今年度に入り個人20、法人2、合計22会員の加入がありましたが、個人92(前年同期:86会員)、団体38(同:43)、法人49(同:55)、合計179会員(同:184)と、個人会員の会費納入は6増えています。団体で5、法人で6減少しています。景気動向等による法人の退会や、高齢化による団体の解散、個人会員の退会の連絡が寄せられています。

〔協議・承認事項〕

1. ドキュメンタリー映画「フクシマは今―隠されるヒバクシャ」の上映と藤田祐幸氏講演会の後援申請について承認されました。
2. 第9回おかやまホテルフォーラム(11/19)開催要項が承認されました。
3. 第三回おかやま環境シンポジウム(2012/1/28)開催要項が承認されました。
4. 「協働事業」に関する概要を確認し、2012年度の「助成・協働事業募集要項」が承認されました。
5. 将来の会員増などに向けた一つの具体策として、学生会員の新設(対象は大学生、大学院生、高校生、会費無料、就職時は対象外、年齢制限無)が承認されました。
6. 基本財産償還に伴う対応について、提案通り出席理事全員一致で可決しました。
7. 「蛍光管フォーラム2011 in 岡山」(11/12)を共催することが承認されました。
8. 評議員の一部改選について、榎屋祐司氏(倉敷医療生活協同組合)より所属団体の役割の変更による退任の申し出があり承認されました。後任として平林明成氏(倉敷医療生活協同組合)の選任を出席理事全員一致で可決しました。

以上